

学生ボランティア交流会 in 鶴岡 2025 報告書

R7.12 鶴岡市ボランティアセンター

日 時 令和7年12月7日(日) 13:30～16:30
場 所 鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」 3階大会議室
主 催 鶴岡市社会福祉協議会・鶴岡市ボランティアセンター
共 催 鶴岡市教育委員会
対 象 鶴岡市内高校・高専ボランティア関係部活(6)、鶴岡市内学生ボランティアサークル(4)
8/7 開催 YY ボランティアサマーチャレンジに参加した中高生
参 加 35 名 学生・顧問・サークル事務局18人、中学生5人、講師・ゲスト2人、
スタッフ10人(ボランティア3人含む)
取 材 山形新聞社

1, 開会・オリエンテーション



▲全体進行 教育委員会 齋藤主事



▲挨拶 鶴岡市ボランティアセンター半澤所長
エッホエッホ みんなに伝えなきゃ♪



▲席順は受付時のくじ引きで決定。みなさんの緊張を和らげるべく、ボランティアスタッフの佐々木智洋さんが楽しいアイスブレイクを行ってくれました！

2, 災害講座 「知っておいて…いざという時のためにも」



▲講話（鶴岡市ボランティアセンター 半澤所長）



▲講師
鶴岡市防災安全課
岡部 純 専門員



▲体験その1 段ボールベッドの組立てから片付けまで。班で協力し合いながら作業しました。
段ボールベッドの耐荷重は約 200 kg！大人 3 人で座ってもびくともしません◎



▲体験その2 マンホールトイレとテントの組立て。

マンホールトイレと言う名称だが鶴岡市では対応しているマンホールが無く、使用する場合はポリ袋の中に凝固剤を入れて使うそうです。



▲このたびの交流会では、アイスブレイクで盛り上がった【Y】のポーズがみんなの合言葉となりました＼(＾o＾)／

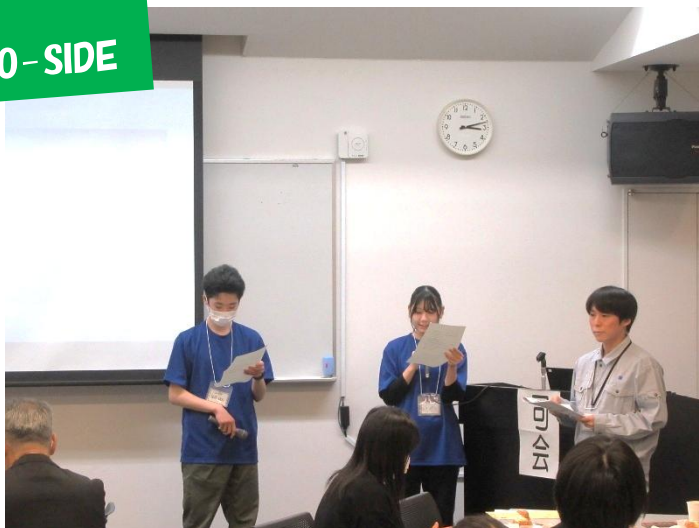


体験の終わりに岡部さんから
非常食（わかめごはん・ビスコ）
の差し入れをいただきました。

3, 各部活・サークルの活動紹介 ※様々な活動の中から、毎年いくつかを紹介していただいています。

櫛引|地域

高校生ボランティアサークル NO-SIDE



<紹介してくれた活動>

サークルの概要、国道沿いサルビア植栽、地域・保育園夏祭り協力、水焰の能会場準備
老人ホーム入所者へ年賀状作成、公共施設駐車場ライン整備

藤島地域

青少年ボランティアサークル Ben's



<紹介してくれた活動>

サークルの概要、ふじしま音楽祭、ふじしま夏まつり・秋まつり、敬老会スタッフ
Hisu 花 de ナイトへの協力、ぼっぼの湯カラオケ大会、出張こんタク！、巨大絵作り
ぼっぼの郷ウォーキング大会、あったかボランティア



鶴岡高専 サービス・デザイン部



＜紹介してくれた活動＞ 離党飛島での活動「テクノ・パラメディック'25」

鶴岡中央高校 ボランティア・インターアクト部



＜紹介してくれた活動＞ ノーマライゼーション親善卓球大会、鶴岡養護学校サマースクール、ユニセフ募金高校生のための災害ボランティア講座、手話教室

致道館高校 JRC



＜紹介してくれた活動＞ 中央児童館畑の整備・チューリップの球根取り・芋掘り、国際村ワールドバザール参加、子ども夢フェスティバル参加、赤い羽根街頭募金、乳幼児・中高生とふれあおう！（まんまルーム）、ポッチャ・洗濯ばさみ・ピンポンチャレンジ(中央児童館)

欠席した部活・サークルの活動も 配付資料に掲載！



交流会欠席 部活・サークル

- ① 鶴岡東高校奉仕部
- ② 加茂水産高校ボランティア部
- ③ 羽黒高校インターアクトクラブ
- ④ 羽黒地域中学生・高校生ボランティア鶴の恩返し
- ⑤ 朝日地域高校生ボランティアサークルかだんこの会



〈掲載した資料について〉

・ 欠席した部活・サークルの資料については
令和6年度以前のものを掲載しています。



8/7 開催！YY ボランティアサマーチャレンジin庄内



山形県教育委員会主催・庄内教育事務所が主管となり、ボランティアに興味のある中高生を対象に、午前中はスキルアップ講座を行い、そのスキルを用いて午後の YY フェスティバルでは中高生が先生となって小学生との交流を楽しむイベントを開催。中高生ボランティア 50 名、小学生は 100 名ほどの参加がありとても賑わいました。



▲ボランティアの中高生は、バルーンアート・スライム作り・紙トンボ作りの中からひとつを選び、小学生との交流に向けて準備をしました。



4, トークタイム 「これからの交流会や新たな取り組みを語り合おう」



▲トークタイム進行

社協地域福祉課 荒木係長

▲話題提供

教育委員会 五十嵐係長

流暢な中国語での自己紹介は
会場を驚かせてくれました！

テーマ1 イベントで●●したい



- ①各自思いつくままに
付箋に書き出す
- ②グループ内で書いた
付箋を発表
- ③近い意見をまとめて
模造紙に貼っていく



テーマ2 交流会でしてみたいこと

テーマ1と同様に付箋に書き出して模造紙に貼付していく



テーマ3 実現するにはどうしたらいいか



▲ 中学生、高校生、顧問の先生、サークル事務局、スタッフ、みんなで声を出し合い
次回につながるトークタイムになりました◎

4, 閉会



▲挨拶 教育委員会 五十嵐課長



▲学生の皆さんに『活動証明書』のお渡し



▲みんなで記念撮影

ビジュ

いいじゃ〜ん!

参加者からの感想等より

○災害講座（講話、体験）の感想、学び等

※大人からの感想も含む

災害の恐ろしさが動画や講話を聴いて分かった。体験を通して実際避難所で使われているものが知れたし、ダンボールだけで200kgまで耐えられる頑丈なベッドが作れるのはすごいと思った。

実際にダンボールベッド、マンホールトイレの組立てを体験してみると、災害時どのような動きをすればいいのかを詳しく学ぶことができた。頂いた災害時のご飯も食べてみようと感じた。

災害への様々な支援の形を知ることができ今後の活動の参考になった。ダンボールベッドや簡易トイレにも実際に触れる大変良い経験となった。

先日参加した櫛引地域秋季防災訓練の際にもダンボールベッドを組み立てていたので良い復習の機会となった。

ダンボールベッドの作り方を知れて、もし災害が起きた時に手伝いなどしてみたいと思った。

水害がよく起き、避難所開設した際に役に立つと思った。大変ためになり実践的で良かった。

ダンボールベッドや仮設トイレの組立ては非常に新鮮な体験で、有事の際に必要な知識を身に付けることができた。いざという時に動けるようになりたい。

実際にベッドやトイレを組み立ててみて、簡単だけどみんなで協力しないとできないと思った。

災害はいつ起こるかかわからないため、いざという時を想定して普段から準備することが大切だと学んだ。トイレやベッドは組立てが簡単だった。

各種データによる説明で、具体的に災害の大変さとボランティア活動の実状や大切さ、庄内からの参加状況が分かった。ダンボールベッドの作成体験は貴重な体験だった。



○部活・サークルの活動紹介の感想、参考にしたいこと等

- それぞれの得意なことを活かす活動や、地域の課題解決や QOL の向上のための活動を知ることができて良かったと思います。
- ボランティアサークルは全体的に部員の人数が少なく、活動内容が多く沢山あることがわかりました。高校生になったらぜひどこかの部活・サークルに入りたいと思います。
- 特に高専サービス・デザイン部の活動紹介が興味深かったです。ボランティア活動に専門技術が加わると、より幅広く対応できるというのは割と盲点でした。飛島での家電修理の話など非常に面白く聞いていました。
- こんなボランティア活動もあるのか、と驚くものがたくさんありました。また、長年やってきたことが表彰されているところもあってすごいなと思いました。
- 飛島という地域限定の活動が中心だったが、鶴岡に住む一般の方を広く巻き込んだ活動も多く、そういったものもできるようになったらいいなと思いました。
- 様々な活動を知ることができた。交流会がなければ交流する機会がないので貴重な会となった。
- いろいろな活動が知れて今後の活動の幅を広げていきたいと思った。
- あまり関わる機会がない学校の活動内容を聞いて良かったです。いいと思ったことは取り入れていければいいなと思いました。
- 各団体の活動内容を知ることができて、有意義かつ楽しかった。
- 地域でやっている活動に協力する形での活動は親睦を深めることもでき非常に良いと感じた。食事に関するボランティアも食を通じて活動できて、取り入れたいと感じた。

○トークタイムで自分が特に伝えたかったこと、話さないでしまったこと等

- 個々の活動での困り感だったり、これから工夫しようとしていることなどの情報交換ができればよかったかなと思います。
- 交流の時などでは、実際の体験を通すことで理解が深まると思うのでこれからもダンボールベッドの組立てのような体験を入れて欲しいと思います。また、みなさん言っていたようですが、ゲームを入れると良いと感じました。
- 他のサークルにおける活動モチベーションや、活動の実施にあたってどのように日程や会場の調整を行っているのかなど聞いておきたかったと思います。

- 今後の活動内容を考えるとき、カードゲームや昔あそび、サッカーなんかも案として出ていて、たくさんの意見に触れることができたし、面白くて楽しそうな案がいっぱいだなと思いました。
- 私たちの活動が少しでも分かりやすく伝わるように、意識しました。
- ぶっ飛んでても話がそれていてもとりあえず案を出すことが大切なのかなと思いました。
- 手話しりとり大会というものを提案しました。大会にしなくても、手話を習うだけでもいいので、少しでも手話ができる人が増えたらいいなと思いました。
- 体験することで新しい発見があること。

○その他、交流会全般、何でもいいので感想や希望等を聞かせてください

- 後半は緊張感もなく和やかな雰囲気になっていたかと思います。アイスブレイクやグループワークの時間がもう少しあると、より交流が深まるかと思いました。ここまでの準備や当日の運営に感謝しつつ、コメントさせていただきました。ありがとうございました。
- 楽しく交流することが出来ました。比較的下の学年でしたが、皆さんたくさん教えていただき、ありがたかったです。
- ほかのボラサークルの活動がわかり、大変貴重な体験をさせて頂きました。しかし、全日的にスケジュールが押しているところが多くあって、特に後半の付箋を使ったトークや意見出しが不十分となってしまった感があります。
また、トークタイムが「大産業まつりのボランティア活動」と「来年度ボランティア交流会の内容」に終始していたこともあって、それぞれのボランティア活動やその課題について語る機会が無いように感じました。
- 最初は緊張していたけど、班で交流できる体験やトークタイムがあって、班の人とも少し仲良くなれたと思うし楽しめました。お菓子や飲み物も豊富で嬉しかったです。
- ボランティア活動はたった1回ではなく、定期的に繰り返し行うことで、活動の質や魅力がより良くなっていくのだと思いました。
- 基本的に他団体・個人と交流する機会が全くないので大変貴重な交流会だと思います。他がどのような活動をどうやっているかを知ることによって新たなボランティア活動や活動の仕方の参考にすることが出来る。有意義な交流会となりました。ありがとうございます。
- 組立て体験が一番印象に残っていて、これからも続けていけば自然とできるようになると思うし、もし使う時が来ても積極的に動けると思いました。

- ・アイスブレイキングしてくださった方を筆頭に、時間を忘れるような楽しく有意義な会でした。ありがとうございました。
 - ・私たちの活動とは違い、地域で行う活動に協力する形のものが多く見られた。大人の活動を見ながら、自分達ができることを考えて活動することは多くの学びにつながると感じた。
- オリジナリティー

ボランティアスタッフより



▲ボラセンサポーター
佐々木 智洋さん

- ・打合せも含め、ボランティアとして参加させていただいたこと大変ありがたく思います。これからも、継続してお声がけいただけますようお願いいたします。ボランティアセンターと教育委員会担当の皆さんの熱意と実行力に敬意を感じます。より良い方向へと未来に向かった思考によって、今の時代に合った新たな形となって行く期待が膨らみます。中高生は無限の可能性に満ちています。交流会の継続と進化は、今後より大きな社会の力となって行く、大変貴重なことと感じます。学生が主体的に本交流会を創っていけるようになればどんなに素晴らしいかと思います。お疲れさまでした、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。（佐々木 智洋さん）



▲山形大学農学部 3 年
田中 昂汰さん・加藤 工也さん

- ・初めてのボランティア活動で緊張しましたが、終始和やかな雰囲気でした。様々な年代の方々の話を聞き、とても勉強になりました。また防災講義において、ダンボールベッドや簡易トイレの設置方法などについて学ぶことが出来て勉強になりました。これからも防災意識を高めていきたいです。参加できて良かったです。ありがとうございました。（田中 昂汰さん）
- ・学生ボランティア交流会に参加し、実際に防災グッズに触れることで、災害時に備えることの大切さを実感しました。また、他の学生が取り組んでいるさまざまなボランティア活動を知り、自分の今後の活動について考える良い機会になりました。（加藤 工也さん）



出典：Hannie Heere(Photographer)

主催団体としての想い…



もう、30年以上も前。

社会福祉協議会で働き始めてしばらく経った頃、

東京で開催された研修会に参加した時のこと。

「社協（社会福祉協議会）」と「社教（教育委員会社会教育課）」が連携して事業に取り組んでいる市町村が、全国を見てもまだまだ少ない。お互いの職員を知らない市町村さえあるという話が出された時に…そうだなあと思い、私は町教育委員会の職員一人一人に「社協広報紙」を配布しながら、まず人間関係づくりから始めてみました。

その後、青少年ボランティア事業をコラボしたことを今も懐かしく思い出します。

市町村合併から20年。

鶴岡市では「社協」と「社教」がしっかりと連携して、中高校生等の学生が交流する事業を毎年実施してきました。継続は本当に力になるなあ実感します。

市内の高校や高専のボランティア部や、「山形方式」と言われている学校の枠を超えてつくられている地域の学生ボランティアサークルとも、交流会だけでなくいろいろな場面でお付き合いをさせていただいています。

今年度は、社会教育課やボランティアスタッフの皆さんと議論を重ねてきて、今後の鶴岡市の青少年ボランティアを改めて考える機会として、交流会では学生たちの声をお聞きする時間も設けました。何よりも、8月に庄内教育事務所が鶴岡市で開催した「YYボランティアサマーチャレンジin庄内」には、ボランティアの部活やサークルに加入していない中高校生が50名も参加していたという驚き。その学生たちも交えた交流会にしたいね…という関係者の皆さんの想いも実現できた交流会になりました。当日は、庄内教育事務所で8月の事業を担当した齋藤先生も参加して下さり、鶴岡発で庄内地域の青少年ボランティアを考えていく機会に出来たものと思います。

鶴岡には、今、ボランティア活動に関心を持ち活動してみたいと思っている学生たちがたくさんいるということを、あらためて確認できた交流会になりました。

参加してくれた皆さんに、心より感謝をいたします。

2025年12月

鶴岡市ボランティアセンター 所長 半澤 活

◎トークタイムで話し合った内容は、別途整理中のため掲載しておりません。

『学生ボランティア交流会 in 鶴岡2025』

新たなつながりから…新たな活動へ！ 開催要項

2024 年交流会より👉



1. 目的 今回は、ボランティア関係の部活・サークルに所属している学生の他に、今年8月に鶴岡会場で開催された「YY ボランティアサマーチャレンジ」に参加した学生も対象とします。ボランティアを通じて新たな人間関係を広げ、若者たちの柔軟な発想やパワーを結集した新たな活動に繋げるきっかけにします。

また、例年取り入れている研修では、「災害」をテーマにして、いざという時の助けになれるよう、被災地や災害ボランティア等の状況を「体験」も取り入れて理解する機会とします。

2. 主催 社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会・ボランティアセンター
3. 共催 鶴岡市教育委員会
4. 日時 令和7年12月7日（日）13:30～16:30 （受付 13:00～）
5. 場所 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♡ふる3階 大会議室1, 2
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30

6. 内 容

時 刻	内 容	所要時間
13:00	受付開始	
13:30～13:50	開会、オリエンテーションなど	20分
13:50～15:00	災害講座「知っておいて…いざという時のためにも」 講話 災害ボランティア&近年の災害現場のお話 15分 体験 段ボールベッド、マンホールトイレ等の組立 55分 講師 （講話）鶴岡市ボラセン （体験）鶴岡市防災安全課職員	70 分
15:00～15:20	交流・お茶タイム	20分
15:20～16:10	部活・サークルの活動紹介タイム	50分
16:10～16:30	トークタイム 「これからの交流会や新たな取組を語り合おう」 話題提供 鶴岡市教育委員会社会教育課	20分
16:30	閉会	180分

7. 定 員 80名程度

8. 参加対象

致道館高校 JRC 部、鶴岡中央高校ボランティア・インターアクト部、加茂水産高校ボランティア部、鶴岡東高校奉仕部、羽黒高校インターアクトクラブ、鶴岡高専サービス・デザイン部、藤島地域青少年ボランティアサークル Ben's、羽黒中学生・高校生ボランティア「鶴の恩返し」、櫛引地域高校生ボランティアサークル NO-SIDE、朝日地域高校生ボランティアサークルかだんこの会、
8/7 開催 YY ボランティアサマーチャレンジに参加した中高校生、その他学生ボランティア関係機関等
各部活・サークルと繋がりがあり、興味がある学生の参加も大歓迎です！

9. 参加依頼人数 各部活・サークルは 5名程度（5名を超えてもかまいません）

10. 参加費 無料

11. 活動紹介について（お願い） ※部活、サークルの方

（1）所要時間 各部活・サークル 5分以内

（2）紹介方法 パワーポイント、パネル、大判用紙等、資料配布、他

○当日参加できなくても、配布資料がある場合は事前にデータ送付いただければ、参加者、
また欠席した部活・サークルには後日配布（送付）します。

○パワーポイントで紹介する場合は、パソコン持ち込み、事務局パソコン使用のどちらでも可。

（3）紹介内容 今回も全体的な活動紹介でなく、最近の特徴的な取組1～2つ位に絞った活動紹介をお願いします。（可能な範囲でけっこうです）

（4）活動紹介データの事前送付について ※パワーポイント等使用の場合

11月25日（火）までに、鶴岡市ボランティアセンターへメール送信願います。

○データ容量が大きくてメール送付ができない時は、ご相談下さい。

12. 参加申込みについて 申込は11月25日（火）まで

それぞれ、次の①か②の方法でお願いします

個人でお申込みの方へ （8/7 開催 YY ボランティアサマーチャレンジに参加した中高校生等）

①右の二次元コードまたは URL から入力。

②別紙申込書を、鶴岡市ボランティアセンターに

FAX またはメールで送付。



<https://forms.gle/Yk9HmR893z9Kid936>

部活・サークルからのお申込み

①右の二次元コードまたは URL から入力。

②別紙申込書を、鶴岡市ボランティアセンターにメールで返送。



<https://forms.gle/jT7TFVv5PV8tQqMS6>

鶴岡市ボランティアセンター 〒997-0045 鶴岡市西新斎町 14-26

（電話）0235-23-2970 （FAX）0235-26-9128

（メール）shk-vol2@shk01.jp 担当：半澤、川崎

※ お問い合わせは、鶴岡市教育委員会社会教育課でも受け付けます（電話 0235-57-4866）

災害をテーマに

今回は、ボランティア関係の部活動・サークルに所属している学生の他に、8/7開催の「YYボランティアサマーチャレンジ」に参加した学生にもご案内しております。

交流を通じて人間関係を広げ、柔軟な発想やパワーを結集した新たな活動にしていきたいと思います！

そして、今回のテーマは「災害」です。近年は全国各地で毎年のように大きな災害が起きています。いざという時に行動できるよう、災害ボランティアの知識を「体験」を通して学びましょう！

マンホールトイレ
段ボールベッド



組立て体験！

仲間と交流！



2025 **12.7** SUN

13:30-16:30 13:00受付開始

場所：にこ♡ふる3階大会議室

学生ボランティア交流会 in 鶴岡2025

対象：

- ① ボランティア関係の部活動・サークルに所属している、または関心のある学生
- ② 今年8/7の「YYボランティアサマーチャレンジ」に参加した学生

服装：うごきやすい服装
※体験する時間があるため

申込み：

申込書または申込フォームに必要事項をご記載の上、ボランティアセンターにご提出ください。

- ※部活動・サークルに所属している方は、活動紹介データも併せてご提出ください。
- ※詳細は「開催要項」をご覧ください。

締切

11.25 TUE

● 当日スケジュール ●

- 13:00 受付
- 13:30 開会・オリエンテーション
- 13:50 災害講座
 - ・災害ボランティアや現場のお話
 - ・災害グッズ組立て体験
- 15:00 お茶タイム
- 15:20 部活動・サークル紹介
- 16:10 トークタイム
- 16:30 閉会

参加者には証明書をお渡しします！